

ニットクニュース

NITTOKU NEWS

No. 78

2021夏季号

【特集】

古地図を持って町に出よう！



1 ご挨拶

取締役会長 野島雅寛

2~23 【特集】古地図を持って町に出よう!

INTERVIEW

4 歴史めぐり、町歩きのすすめ。

●お笑いタレント ビビる大木

7 不死鳥の街・横浜

●作家 山崎洋子

12 江戸の痕跡を探して。

17 古地図を読む、世界を知る。

22 時代の流れを感じながら歩こう!



▲横浜



24~27 ●得意先を訪ねて

24 【大阪市】株式会社松田敏商店

26 【愛媛・松山市】日光塗料店



▲江戸/東京



28~29 ●TOPICS

28 ■お知らせ 第115期「定時株主総会を開催」

28 ■お知らせ 「投資家向けのオンライン決算説明会を開催」

29 ■自動車製品事業本部 武漢日特固汽车零部件有限公司「常福工場」、本格稼働開始!



▲ゼンリンミュージアム

30~37 街を彩るニットクの製品

『ニットクニュース』定期購読者を募集!

『ニットクニュース』の定期購読者を募集しています。ニットクニュースは当社が企画、制作し、年に2回(新春号・1月、夏季号8月)発行している広報誌(フリーペーパー)です。ご希望がございましたら、ホームページのお問合せフォームからお申し込みください。ご希望の宛先に直送いたします。

ご挨拶



●取締役会長
野島雅寛

関係各位に誌面をお借りして日頃のご指導、ご鞭撻に対し衷心より厚く御礼申し上げます。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延で、不自由な生活を強いられている皆様にお見舞い申し上げます。

令和元年の夏季号で平成30年間の出来事の中で100年に一度と言われるような自然災害で多くの犠牲が発生したことについて触れましたが、令和になって早々に全世界を震撼させるコロナ騒動が起きるとは誰も想像しなかったのではないかと思います。100年に一度という言葉は滅多に起こりえないことに例えられることですが、今回のコロナについても同じことが言えるのではと感じます。

記録を紐解くと、約100年前の1918年に今回と同じように全世界にパンデミックを起こした「スペイン風邪」が発生しました。発端についてはいろいろな説がありますが、アメリカの陸軍との説が主流です。第一次世界大戦で多くの米兵が欧州に派遣されて広がり、戦時中のことで報道管制の中で中立国のスペインから情報が発信されたためにスペイン風邪と名付けられたと

のことです。

この時は全世界人口の3分の1の5億人が感染して、4500万人が亡くなり、日本でも人口の4割に当たる2400万人が感染して、死者45万人との記録があります。当時と今とでは医療関係含め状況は大きく変わっていると思いますが、当時より全世界各地の行き来が頻繁になされており、別の意味で感染防止対策がたいへんになっているのではと推察します。一日も早く収束することを心から祈願いたします。

コロナの影響で経済活動にも大きな波が打ち寄せ、在宅勤務や巣籠もりで生活環境が変わることで恩恵を受けた分野、大打撃を受けた分野と両極端な現象が起きています。コロナが収束してもすべてが元の状態に戻ることは考えられず、ビジネススタイルを時代に合わせた企業のみが生き残るのではないかと思います。当社としても生き残りをかけて邁進する所存でございます。

今後もこれまで以上のご指導、ご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のご多幸を祈念いたします。

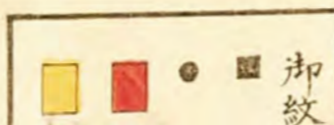


特集

古地図を持って町に出よう!

近年、江戸や幕末がブームとなり、歴史をテーマにした町歩きが人気を集めている。とくに、過去と現在の変化／不変を目にできる「古地図」を手にしなごらの散歩を楽しむ人も増えている。その場にいながらの“タイムスリップ”。むかしどいまを歩き来する小さな旅。単に名所スポットを訪ねるだけではない、「古地図」を使った町歩きの魅力を集める。

江戸後期の嘉永年間に刊行された尾張屋版「江戸切絵図」(国立国会図書館)より「巢鴨絵図」(部分)。左上が現在の王子駅周辺で、「飛鳥山」をはじめ、「王子稲荷」「王子権現」「扇屋」などの名が見える。



王 染 井 巢

松平 時之助



学び、資金を稼ぎ、ようやく帰国できたのは10年後。生涯を通して本当にパワフルな人です。こういう人物について、なぜ学校でもっと教えないのでしょうか。そして、こんなにすごい人の人生を、現代において僕が語る係になるなんて、縁とは本当に不思議です。

僕は吉田松陰先生とジョン万次郎が好きですが、同じ時代に生きた2人に接点はないかと調べてみました。すると、松陰先生はジョン万次郎について、江戸後期の学者・佐久間象山先生から聞いていたようですね。万次郎の渡米に感化されて、黒船に近づこうとしたようです。歴史って、調べれば調べるほどつながりが見えて面白いです。

松陰先生は30歳で処刑され、坂本龍馬や高杉晋作も新しい時代を見ることなく死んでいきます。まるで天が「お前の仕事はここまでだ」と決めていたかのよう。そして、大久保利通や渋沢栄一ら当時まだ無名の人間を指名して「これからはお前たちの番だぞ」と新しい時代を動かしていく。歴史を見ていくと、誰かが采配している気がしてなりません。名を馳せた人の共通点は何かと考えると、自分の意思とは異なる場所に行かされても、そこで花を咲かせようと懸命に働いていること。そして、学んだら必ず行動に移すことだと思います。

身近にも歴史の痕跡が?!

2024(令和6)年に1万円札の顔になる渋沢栄一は、放送中の大河ドラマ『青天を衝け』の主人公。知れば知るほ



どすごい方です。昨年末、出版社からお話をいただき、同じ埼玉出身ということで『ビビる大木、渋沢栄一を語る』という本を書かせていただきました。

渋沢栄一はいままでこそ有名な人ですが、地元になんかすごい先輩がいたのに、どうして誰も教えてくれなかったのか。幕府側の人間だからという理由で世の中に出なかったのであれば、もったいない。立場に関係なく、功績をみんなで学ぶというのは大事なことです。そういう隠れた歴史は、あちこちにたくさんあるんでしょうね。

以前、静岡の商店街でロケがあった時、待機場所になっている近くの古い民宿に行きました。聞けば江戸時代から続く老舗で「山岡鉄舟も来ました」と言われ、ちょっと特別な気持ちにな

ったことを覚えています。そういえば、僕の地元の埼玉県春日部市には徳川慶喜も鷹狩りで来ていたそうです。都心からけっこう距離があるのに、わざわざ春日部まで狩りに！と感心してしまいました。

皆さんの地域にもビッグネームが立ち寄っていたり、意外な歴史が隠れていたりするかもしれませんよ。灯台下暗し。どんな場所にも江戸時代や幕末はあります。歴史の面白さって、自分でいろいろ発見していくことかなと僕は思います。コロナ禍で観光地めぐりやレジャーが難しいいま、近くの郷土資料館で町の歴史を調べてみるのもいいし、近所を歩いて歴史の痕跡を探して、当時を想像してみるのも楽しいと思います。



幕末をもっと身近に!

幕末好きのビビる大木さんは、幕末に関する著作も出版しています。『ビビる大木、渋沢栄一を語る～僕が学んだ45の教え～』(プレジデント社)では、「中間管理職」の視点で、渋沢栄一の言葉や考え、生き方を紹介。幕末・明治・大正・昭和を駆け抜けた渋沢栄一と、令和を生きる人が響き合う、歴史を知ることの醍醐味を味わえます。『ビビる大木の幕末ひとり旅』(敬文舎)は、吉田松陰から、新選組、ジョン万次郎、坂本龍馬、西郷隆盛まで、幕末、明治維新に活躍した人物のゆかりの地を訪ね歩き、彼らの生涯に迫ります。歴史書であり観光案内書でもあり、歴史をより深く、より身近に感じることができます。

ホテルニューグランド本館2階の宴会場「レインボールーム」にあるフェニックス(不死鳥)のレリーフ。



不死鳥の街・横浜

●文 山崎洋子 (作家)

●写真 大森裕之

港町横浜の歴史はさほど古くない。今年で162年。だがその短い間に3度も壊滅状態に遭遇している。街はそのつど大きく変貌した。だから往時を偲ぶよすがは多くない。けれども歴史を知って歩けば見える景色が違って来る。いにしへの街並みや人々が、時代の思いとともに、ゆっくりと出現するはずだ。ではタイムスリップの手始めとして、山下公園通りに立っていただこう。

目の前は山下公園。右手は元町、山手の丘。左手は波止場、やや離れてみなどみらい、さらに真新しい横浜市庁舎ビルが建つ北仲通地区。そして背後にはホテルニューグランド、中華街。港町横浜は、この地点から始まった。

幕末という時代を迎えた頃、この一帯は山手寄りに横浜村という半農半漁



①山下公園。1923（大正12）年の関東大震災の復興事業として瓦礫の投棄場所に指定された山下町先を整備し、1930（昭和5）年に開園した。

の村があるだけの長い砂州だった。背後の陸地は畑と田んぼ。その素朴な場所が突如、歴史の表舞台に引っ張り出された。1853（嘉永6）年、アメリカのペリー提督が黒船艦隊を率いて浦賀に上陸。長い鎖国を続ける日本に開国を迫ったのだ。この頃、西洋列強はアジアの国々を植民地にして搾取のし放題。

次は日本だ、とばかりに虎視眈々と狙っている。ならば「対等な付き合い」を申し出ているアメリカにまずは開国し、他国にもその前例に従ってもらおうほうが安全だ。というわけで、翌年、日米和親条約が締結された。この調印の場選ばれたのが横浜村のある砂州だった。理由は沖の水深が深く、大型船が停泊できること。さらに東海道と通じていないから、万が一、ペリーが江戸侵攻を企んでも、ここで阻むことができるから。

調印は無事に終わり、村の暮らしも元に戻った、と思ったのもつかの間、4年後にアメリカ、フランス、イギリス、オランダ、ロシアと通商条約が結ばれ、同時に海外貿易のための「開港場」が定められた。箱(函)館、新潟、神戸、長



②1981年に開館した横浜開港資料館。旧イギリス領事館で、中庭にあるたまくすの木は、ペリーが上陸した場所から移植されたもの。

崎、横浜。中でも首都江戸にもっとも近い横浜は、日本の表玄関という位置づけになる。外国商社はすかさず砂州に乗り込み、さっさと商館を建て始めた。幕府は日本中から人手を集め、突貫工事で波止場を建設。横浜村の住人を他所に移住させ、村だった場所を外国人居留地に定めた。波止場を挟んだ



ペリー来航時、艦隊に随行してきた画家ハイネが描いた「ペリー提督横浜上陸の図」（1854年以降・横浜開港資料館蔵）。右に見えるのがたまくすの木。

逆の側は、江戸や大坂から商人を誘致した日本人町。さらには沼地同然だった埋立地に燦然たる遊郭まで建てた。まだ日本と条約を結んでいなかった清国からも多くの華僑が渡日し、外国人居留地の一角に自分たちのコミュニティーを築いた。後の中華街である。こうして1859（安政6）年、忽然と国



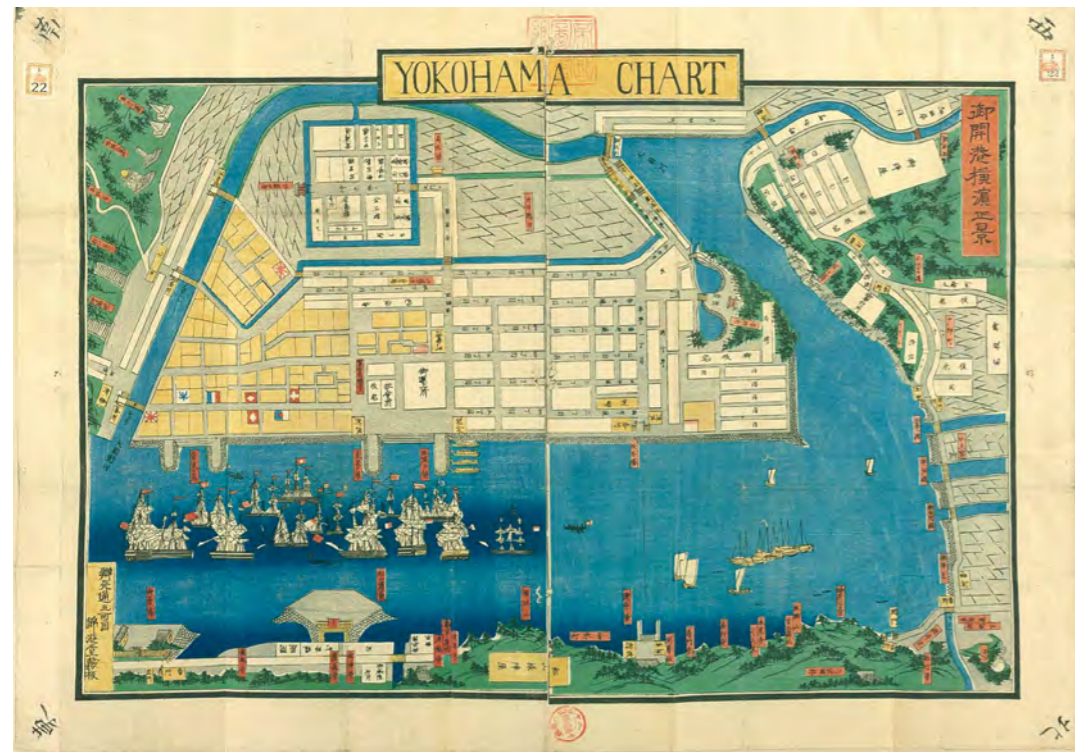
③開港広場。1982年に横浜開港資料館の隣に開場。ペリーが上陸した場所とされ、日米和親条約調印の地で、石碑が残る。

際都市が誕生した。海側以外は運河で陸と隔てられ、橋には関門が築かれた。刀を持つものはここで厳しくチェックされる。この時から関門の内側を「関内」、外側を「関外」と呼ぶようになった。JRや地下鉄の駅名に使われている「関内」は町名ではない。往時の通称である。



1892年刊の太田久好著「横浜沿革史」の挿図「横浜村外六ヶ村之図」（部分・国立国会図書館蔵／彩色等の画像加工は編集部）。横浜開港以前の図で、現在の横浜市街地は、沼地を含んだ「新田」（吉田新田と太田屋新田）だった。関内地区の太田屋新田は開港直後から埋め立てや土盛りがされ、その後、吉田新田も開発されていた。横浜新田が現在の中華街の場所。

開港後の1864（元治元）年頃の絵図「御開港横浜正景」（国立国会図書館蔵）。太田屋新田がすっかり埋め立てられ、その海側は外国人居留地（黄色の区画）と日本人の町（白の区画）が分かれている。



オレンジ色の線は、開港前の1859年の海岸線。2本の突起状の波止場が築かれ、ここが後の西波止場（イギリス波止場）になる。1864（文久4）年には山下公園付近に東波止場（フランス波止場）が設けられた。

青色の線は、開港後の1922年の海岸線。1866（慶応2）年の関内大火後、イギリス波止場の東側を弓形に延ばし、船溜りとして整備された突堤は、その形状から「象の鼻」として親しまれた。大さん橋は1896年、赤レンガ倉庫がある新港埠頭は1917年に整備された。



④中華街・横浜媽祖廟付近。横浜新田の海岸線沿いに整備されたため、区画が約45°ずれている。



⑤吉田橋関門跡。かつて川が流れていた場所は、いまは高速道路が走っている。



⑥横浜公園。1866年の慶応大火で焼失した港崎遊郭の跡地に整備された。



⑦中華街中心部。開港後、外国人居留地に欧米人とともに来住した中国人によってつくられた。



⑧日本大通り。慶応大火を機に大規模な区画整理が行なわれ、日本初の西洋式街路として完成した。車道幅12m、その両側の植樹帯・歩道幅も12mで、広い空間は防火帯も兼ねた。

だがこの華やかな街は文字通り砂上の楼閣だった。開港から7年後の1866(慶応2)年、大火に襲われ、波止場をはじめ崩壊状態になった。これが1度目の厄災である。が、不屈の横浜スピリットもここから始まった。波止場から延びるメイン通りを、火災の際、類焼を防げるよう幅を拡げ、両サイドは石造の耐火建築にした。これが現在の日本大通りである。また遊郭を他所に移転させ、跡地に災害時の避難場所になる大きな公園を造った。現在、横浜スタジアムを擁する横浜公園がそれである。

「慶応2年の大火」と呼ばれたこの火事は、もうひとつシンボルを残した。日本大通りの海側突き当たりにある象の鼻パークがそれだ。開港時の波止場は2本の防波堤がまっすぐ海に突き出していた。沖の大型船とこの防波堤の中を小舟が行き来し、人や物を運ぶ。が、強風の際にはたいへんだ。防波堤のどちらかへ、小舟が吹き寄せられる。そこで大火のあと、片方の防波堤を湾曲させて風を避けられるようにした。その後、何度も港は改善され、もとの防波堤も

なくなったが、「象の鼻」と呼ばれた湾曲の防波堤は再現され、観光スポットとして親しまれている。

さて、時は幕末から明治へ。この頃、横浜には「日本で初めて」という技術や文化が産業革命の進んでいた外国から続々と入ってきた。鉄道、電話、西洋野菜、アイスクリーム、ガス灯、近代水道、洋建築、洋家具、クリーニング、ペンキ塗装、洋菜など、数え上げたらきりが無い。ガス灯の下では日本娘と異国の若者が愛を囁くかと思えば、下級外国船員相手の安宿が軒を連ねる路地では、夜毎、賭けボクシングと酔っ払いの喧嘩。警察も入れないカスパが出現した。発展と同時に光も闇も濃

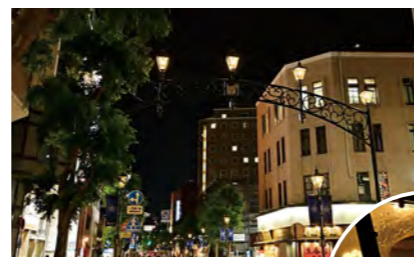


⑨象の鼻パークから「象の鼻」を望む。横浜開港150周年を記念して2009(平成21)年に復元された。

くなったのである。

こうして横浜村のあった砂州は1889(明治22)年、人口11万人を超える「横浜市」となった。明治から大正へと移行した頃が、開港場横浜の最盛期である。私も叶うことならこの時代の横浜を歩いてみたい。というのも、景色が一変する2度目の厄災が1923(大正12)年に突発したからだ。

東京、横浜という人口密集地を襲った関東大震災。関内から山手にかけての洋館群をはじめとして、大小の建物がほとんど崩壊・焼失した。死者・行方不明者14万人超。「横浜は再起不能、東京と合併か」という新聞記事まで出た。もはや横浜港は日本一の国際貿易



⑩近代街路樹発祥の地・馬車道。1872年には日本初のガス灯が設置された。



⑪ホテルニューグランドの外観(上)と、フェニックスのレリーフ(右)。関東大震災の瓦礫で埋め立てられた山下公園を正面に、1927年に誕生。敗戦直後にマッカーサーが宿舎としたことでも知られる。



⑫旧・横浜正金銀行。関東大震災で焼失したドーム屋根が復元され、1967年に県立博物館として開館した。国指定重要文化財。



⑬横浜市開港記念会館。大震災で全焼したが1927年に初期の建築を、1989年にドーム部を再建。国指定重要文化財。



⑭神奈川県庁本庁舎。正面屋上の塔は「キングの塔」とも呼ばれる。国指定重要文化財。



⑮横浜税関。塔は「クイーン」の愛称で親しまれる。横浜市認定歴史的建造物。

港ではない。外国商社の多くは神戸などに拠点を移してしまった。この時、その商社を引き戻すため、外国人が泊まれる立派なホテルを建てよう、と官民一体となって建設されたのが1927(昭和2)年竣工のホテルニューグランドだ。本館2階の宴会場「レインボールーム」にはフェニックス(不死鳥)の美しいレリーフがある。これには、何があっても甦る、という横浜市民の切なる願いが込められているのである。

この惨状の中でかろうじて残った記念碑的な建造物もある。1903(明治37)年に竣工した荘厳なネオ・バロック様式の旧横浜正金銀行。震災でドーム屋根が焼失したが、後に復元され、現在

は県立博物館となっている。そして1917(大正6)年竣工の開港記念会館。これは1928(昭和3)年竣工の神奈川県庁、1934(昭和9)年竣工の横浜税関とともに、それぞれジャック、キング、クイーンと称され、横浜三塔として親しまれている。

3度目の厄災は1945(昭和20)年の横浜大空襲。市街地は焦土と化した。それでも横浜は甦る。1965(昭和40)年、新生横浜に向けて六大事業が発表された。みなとみらい、ベイブリッジ、港北ニュータウン、金沢地先埋立、地下鉄、高速道路の建設である。それがすべて実現したのはご存知のとおりである。これからもこの街は変化し続けるだろう。それが不幸な変化であっても、その時はまた、フェニックスが大きく羽ばたくに違いないと私は信じている。

やまざき・ようこ●1947(昭和22)年、京都府まれ。1986年、『花園の迷宮』で第32回江戸川乱歩賞を受賞し、小説家デビュー。横浜関係の著書が多く、舞台の脚本、演出も手がける。主な著書に『横浜唐人お吉異聞』(講談社)、『横浜の時を旅する』(春風社)、『天使はブルースを歌う—横浜アウトサイド・ストーリー—』、『わたしのアンダーグラウンド—戦後横浜の光と闇』(ともに亜紀書房)など。



⑯ジャック、キング、クイーンの横浜三塔を一望できるポイントに立つ筆者。



江戸の痕跡を探して。

日比谷から日本橋を歩く

林立する高層ビルに、張り巡らされた交通網。
 インフラ技術の粋を集めた東京都心には、
 実は江戸時代の町づくりの痕跡がいまも多く残されている。
 なかでも江戸城があった皇居から日本橋周辺にかけては
 歴史散策がコンパクトに楽しめるエリア。
 現代の東京から400年前の江戸へ。
 時を超える町歩きを楽しんだ。

江戸の中で最も賑わった場所「日本橋」。1603(慶長8)年に徳川家康による全国の街道整備計画に際し、木造の太鼓橋が架けられ、翌年には五街道の基点となった。地図を見ると、写真正面の方角には、江戸城の本丸・天守閣がある。つまり日本橋は、江戸城がよく見える位置関係に作られたようである。

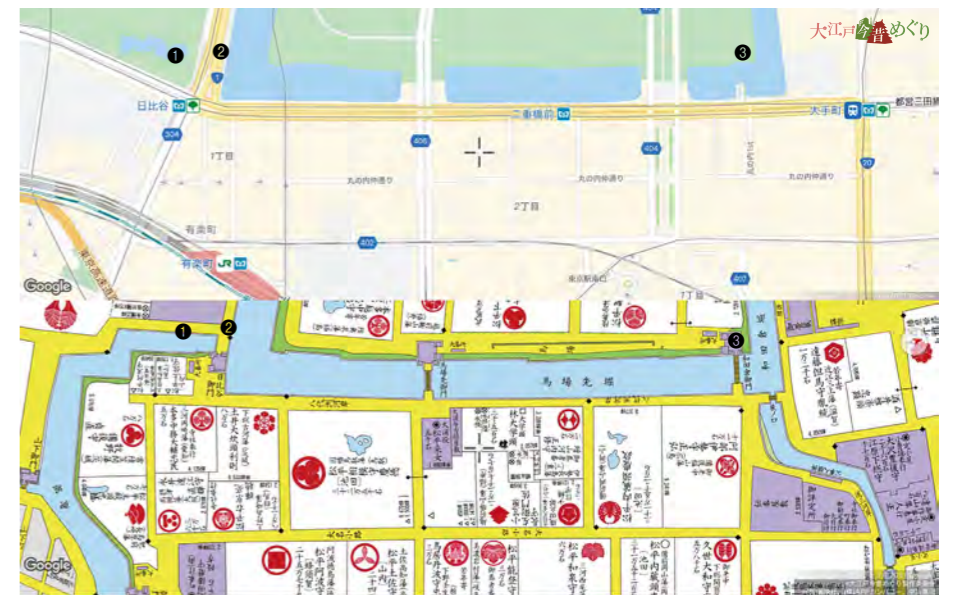


日比谷から内堀沿いに大手門へ

「江戸」という地名は一説に、川が海に臨む“江の戸”、あるいは“入り江のある所”が由来という。高層ビルが建ついまの町並みからはイメージするのが難しいが、江戸期に入る前までは現在の新橋から日比谷、丸の内にかけて「日比谷入江」と呼ばれる海が広がっていた。徳川家康は江戸城入城と同時にその入江を埋め立て、以後260年にわたり繁栄が続く江戸の町を作り上げたのだ。人口100万人を超える世界最大級の都市・江戸。いったいどんな様子だったのだろう。その痕跡を随所で見ることができると知り、尾張屋版の『江戸切絵図』と、スマホの古地図アプリ「大江戸今昔めぐり」を頼りに出かけた。

* *

町歩きは日比谷交差点から始めた。江戸城をぐるりと囲む内堀は、外敵の侵入を防ぐための城門が何カ所も設置されていて、日比谷交差点には「日比谷門」があった。地図を見ると、この辺りの内堀の幅は江戸時代とほぼ変わっていない。なみなみと水を湛え、その昔は海だったイメージも湧く。日比



江戸末期の古地図をベースにしたアプリ「大江戸今昔めぐり」は、Googleマップとも連動。現在地がわかり、「江戸」と「現代」のバーをスライドすることで両方の地図を重ねて見ることができ、古地図散歩をより楽しくしてくれる。

谷公園の「心字池」に、日比谷門周辺の土手に使われた石垣も残されていた。

水の都、江戸の名残

内堀沿いに大手門方面へ。柳と銀杏並木の歩道は人も少なく、風が心地いい。日比谷通りの向こうはオフィスビルや帝国劇場がある「丸の内」で、かつて大名屋敷が集まっていた場所であ

る。家康は諸大名に日比谷入江を自ら埋め立てさせて土地を与えたそうで、東京そして日本の金融・経済の中心地の土台が将軍への忠誠心で築かれたことを思うと感慨を覚える。

しばらく歩くと「和田倉門」に出る。和田倉は文字通り蔵のことで、いまは憩いの場となっている和田倉噴水公園が、かつて江戸城建設の物資を貯蔵する蔵だった。関東に入った家康は、ま



①日比谷公園の中には、当時の石垣と堀が心字池として残されている。この後ろ、現在の日比谷交差点付近に日比谷門があった。



②日比谷交差点から見た馬場先堀(内堀)。正面のビルの手前に和田倉門がある。内堀をはさんで左(西)が西ノ丸、右(東)が大名小路と呼ばれ、有力大名の屋敷があった。



③辰ノ口跡から見た和田倉門周辺(左)。和田は海を意味する古語で、江戸城に運ばれてくる物資は、江戸湊から日本橋をくぐって道三堀を通り、辰ノ口で荷揚げされていた。中の写真は馬場先堀側から見た和田倉橋。右は和田倉があった場所にある、水と緑の憩いの「和田倉噴水公園」。奥に和田倉門の石垣が見える。



④ 平将門の首を供養するために建てられた石碑、将門塚。



⑥ 江戸城の入り口の大手門。内側は外敵の侵入を阻止、攻撃しやすい枡形の構造になっている。



1849(嘉永2)年から1870(明治3)年にかけて、絵草子商の尾張屋清七によって出版された尾張屋版「江戸切絵図」(国立国会図書館)より「御江戸大名小路絵図」。5色で色分けされ、錦絵風の絵も入る鮮やかな切絵図で、見るだけで楽しい。絵図ではそれぞれの屋敷が印の形や色でその種別がわかるように示され、武家屋敷では上屋敷はその家紋が、中屋敷は黒四角、下屋敷は黒丸が描かれた。江戸時代は、表札を出すこともなかったため、特に各国から江戸に上った大名とその家臣たちに、地図は重宝がられた。

ずこの和田倉門から外堀通りの「呉服橋」付近まで「道三堀」を開削し、船で江戸城に物資を運んだそう。現在、道三堀は埋め立てられているが、新大手町ビルと野村ビルとの間に道三堀跡の案内板があり、その歴史が書かれている。

和田倉門の少し先が大手町の交差点だ。日本橋方向には幹線道路の永代通りがまっすぐに伸び、地下は複数の鉄道路線が交差している。水路の道三堀は埋め立てられたが、人や物の輸送に重要な地であることはいまも変わらない。

すぐ近くに平将門の首を祀った有名な「将門塚」があると知り、立ち寄ってみた。高層ビルが並ぶ一等地の一画に

ぼつんと石碑があり、異質な雰囲気だ。移転や取り壊しを行なうたびに災いが起こるため再開発を免れてきたらしい。ミステリースポットともパワースポットとも言われていて、スーツ姿の人がひっきりなしにやって来て手を合わせていく。平安中期の武将はいまも、戦う人にとっては守り神なのかもしれない。

江戸城内をぶらり散歩

江戸城の跡地である皇居東御苑は一般公開されているので、中に入って当時の痕跡を見してみる。出入口は「大手門」「平川門」「北詰橋門」の3カ所あり、

ここはやはり登城する大名気分です。正門の大手門から。ほとんどの建物が度重なる火災で焼失したが、「同心番所」と「百人番所」は江戸時代から残る遺構だそう。登城者を監視するこのような番所や門をいくつも通過し、緩やかな傾斜を登っていくと、いよいよ「本丸御殿」。その広大な敷地には現在、芝生や樹木など緑が広がっている。人影もまばらなので、コロナ禍に密を避けて訪れるにもいいかもしれない。

本丸の先にあるのが天守台だ。東西約41m、南北約45m、高さ11mのこの石垣の台だけでも立派だが、江戸初期には地上からの高さ58mの天守閣が建



⑥ 天守台。江戸城に天守閣があったのは50年間ほどで、明暦の大火(1657年)で焼失して以降、天守台だけが残されている。



高さ11mの天守台からの眺め。かつて石垣の向こうには、本丸御殿のさまざまな建物が立ち並んでいた。



⑦ 平川門の前に架かる平川橋。ビル群の中に木の色が映える。



「江戸切絵図」と比較すると、現在の外堀通りや永代通り、鍛冶橋通りがかつての堀を埋め立てて造成されたことがわかる。外堀通りの「呉服橋」「鍛冶橋」「数寄屋橋」など「橋」の付く名称は、堀に架かっていた橋の名残である。

てられていた。ビルにして20階ほど。想像しただけで圧倒される。天守台に上ると、いま歩いてきた芝生広場や周囲の木々、遠くに高層ビルも一望できる。耳に入るのは風に揺れる木々の音と鳥の声だけで、車の走行音もまったく聞こえない。近くに視界を遮るものがないので空も広い。城下町の賑わいや張り巡らされた水路、富士山などの展望を空想してみる。かつて武将たちはどんな思いで江戸の町を眺めていたのだろう……。

江戸城跡を満喫し、奥女中たちの通用門だったという平川門から内堀の外へ。それにしてもいたるところに築か

れた石垣から、いかに大掛かりな城構えであったかがうかがえる。

外堀沿いに橋めぐり

ここからは隅田川につながる日本橋川や外堀にかかる橋をめぐっていく。平川門近くの「一ツ橋」に立つと、下に江戸時代の水路である日本橋川、上に現代の陸路の首都高速都心環状線を同



⑧ 一ツ橋の上から日本橋方向を見ると、川岸に一橋門の石垣が残されている。右岸に見えるビルのあたりに一橋家の屋敷があった(上)。
⑨ 一橋徳川家屋敷跡の石碑(下)。



⑩ かつてはこの地域にあった神田明神にちなんで名付けられた神田橋。

時に見ることができる。川岸に残された石垣に当時がしのばれる。

川沿いに整備された大手町川端緑道を日本橋方向に行くと、「神田橋」が見えてくる。川に美しい2連のアーチを描いている石橋は、今年5月に再開通したばかりの「常磐橋」だ。

日本橋川と外堀が分岐する地点に架橋された「一石橋」は、歌川広重の名所江戸百景『八ツ見のはし』にも描かれた。当時は橋の上に立つと「常盤橋」「銭瓶橋」「道三橋」「呉服橋」、日本橋、江戸橋、鍛冶橋、そして一石橋の8つが見え、江戸城はもちろん、遠方に富士山も望めるビューポイントだったらしい。現在は頭上に高速道路が走り、残念ながら空も遮られてしまっている。また、この辺りはかつて金融・商業の中心地で

古地図を読む、世界を知る。



東京駅八重洲口の外堀通りが、かつての外堀であったのだとよくわかる。明治新政府によって接収された藩邸のあった大名小路が丸の内となり、東京駅が配置された。地図中央に北町奉行所がある。



JR有楽町駅の東側を走る首都高速は、外堀を埋め立てた上に建設された。このため、外堀に沿った形でカーブを描いているのが、古地図アプリをみるとよくわかる。数寄屋橋御門の上に南町奉行所がある。



①上左は、一石橋から見た常盤橋。
②上右は、石橋の常盤橋。対岸に見えるのが常盤橋門の石垣。下の写真は常盤橋の親柱。「磐」の字は「般」に「石」が使われている。右奥に見えるのが日本銀行本店。現在、ときわ橋は新常盤橋、常盤橋、常盤橋の3つある。常盤橋が江戸時代の常盤橋門に通じる歩行者専用の橋を架け替えたもの。新常盤橋はかつての市電の橋で、常盤橋は関東大震災の復興計画として建設された道路橋。



③JR有楽町駅近くの数寄屋橋交差点(上)。交差点の西方向(日比谷公園方向)には、首都高速の高架が見える。交差点の北方向には、同じ高架式の首都高が東京駅方面に向かって左にカーブを描いている(下)。

「金座」があった場所で、跡地には、重厚な構えの日本銀行本店が建てられている。

日本橋まで足を延ばす。日本橋は言わずと知れた五街道の起点で、橋の中央にはそれを示す日本国道路元標がある。江戸時代の交通・物流の要所で、界限は江戸最大の繁華街。広い川幅からも当時多くの船が行き交い、河岸が賑

わっていた感じが感じられる。

日本橋から呉服橋に戻り、東京駅を右手に見て外堀通りを進むと、鍛冶橋、そして「数寄屋橋」へとつながる。数寄屋橋の交差点に立ち、歩いて来た方向を振り返ると、上を走る首都高が左にカーブしているのがよくわかる。1964年の東京オリンピックに向けて用地を増やすため、もともとの外堀を埋め立

て、それを覆う形で高架式の首都高が急ピッチで建設されたという。いまの東京が江戸の町づくりの上に成り立っていることがよくわかる。

古地図があると、いつもの町が少し違う風景に見えてくる。タイムトリップも楽しめる古地図散歩、お勧めだ。

地図を通して国内外の歴史を楽しく学べる博物館がある。2020年6月にオープンしたゼンリンミュージアムだ。「歴史を映し出す地図の紹介」をコンセプトに古今東西の約120点の貴重な地図を展示。実用ツールとしてだけでなく、地図そのものを楽しめ、そこから物語が広がっていく。ユニークな博物館で、古地図の魅力をさぐる。

ゼンリンミュージアム展示室の床に広がる原寸の伊能忠敬「大日本沿海輿地全図」(複製)。

宗教観も反映された地図

JR小倉駅からほど近く、紫川沿いに「伊能忠敬測量200年記念碑」がある。日本全国を実測して地図を作り上げた伊能忠敬が、九州測量の始発点とした場所だ。川を挟んで向かいにあるのがゼンリンミュージアム。地図情報会社の㈱ゼンリンが2020(令和2)年6月にオープンした地図の博物館で、複合商業施設リパーウォーク北九州の14階、小倉城や町並みが一望できる立地にある。

「地図が描かれた時代背景や、作者の意図がわかる展示を心掛けています。地図の新しい見方や気づきがあればうれしく思います」と語るのは佐藤渉館長。常設展は第一章から第三章まで3つに分かれ、古地図約120点が並ぶ。解説文を一つひとつ読んで見て回るのも



九州伊能測量の始発点を示す「伊能忠敬測量200年記念碑」。奥に見える建物がゼンリンミュージアムがある複合商業施設リパーウォーク北九州。

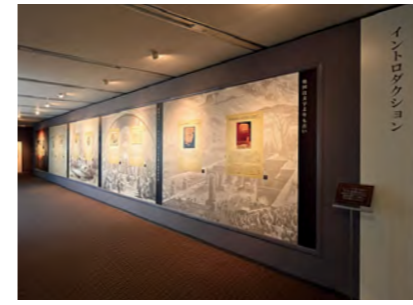
いいが、常駐しているZキュレーターと呼ばれる専任の解説員に見どころや製作時のエピソードを聞くと、1枚の地

図をさらに深く味わえ、ドラマチックに感じられるのでお勧めだ。

まずはイントロダクション。地図は文字よりも歴史が古いそうで、そんな地図の始まりから大航海時代までの世界地図が紹介されている。現存する最古の世界地図は、紀元前700年頃に粘土板に描かれた「バビロニアの世界図」。地球が平面であると信じられていた時代は、地図というよりも概念図のよう。一方で、地図の方がバラバラなのは、宗教によって何を上に描くかが違うためらしい。イスラム教は聖地メッカを上にするため、南が上。科学よりも宗教的な世界観が色濃く反映されている。

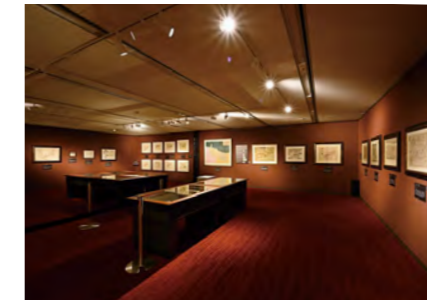
地理だけでなく時代背景も読む

第一章は「世界の中の日本」と題し、



イントロダクションコーナー。粘土板に描かれたバビロニアの世界図などが展示され、紀元前の古代メソポタミア文明から大航海時代までの地図を紹介。

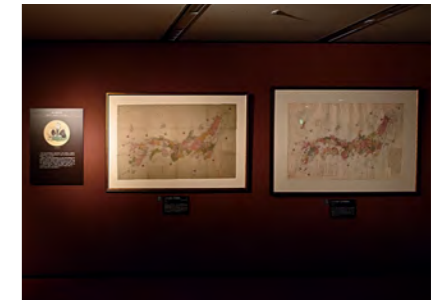
16~19世紀、日本が西洋からどのように見られていたかがわかる展示になっている。マルコ・ポーロの『東方見聞録』に描かれて以降、黄金の国ジパングにはキリスト教の布教や貿易拡大を目的に西洋人がやってきた。その宣教師たちの報告によって、詳細な日本地図が作られていったという。航海の危



第一章エリア。想像で描かれていた黄金の国「ジパング」が徐々に明らかになっていく過程を紹介している。

険を物語るように、見るからに恐ろしい海獣も描かれている。

なかでも目を引くのが、1617年のブランクス/モレイラの「日本図」。ポルトガル人のモレイラは日本に最初にきた地図製作の専門家で、2年間の滞在中に九州など西日本を簡易的に測量し、東日本については各藩の大名から綿密



伊能忠敬より半世紀も前の1779(安永8)年、長久保赤水により製作された北緯線が記された初期の日本地図・通称「赤水図」のコーナー。

に情報収集して作り上げたそう。北海道(蝦夷)はまだ一部しか描かれていないが、本州、九州、四国の位置関係や形状は今にだいたい近い。

一方、日本国内では、鎖国体制下で大ベストセラーになった地図もある。地理学者の長久保赤水が製作した「日本輿地路程全図」がそれで、地名など



リンスホーテン「東アジア図」

1595年~1596年/オランダ・アムステルダム刊/銅版・手彩色/41.7×54.7cm

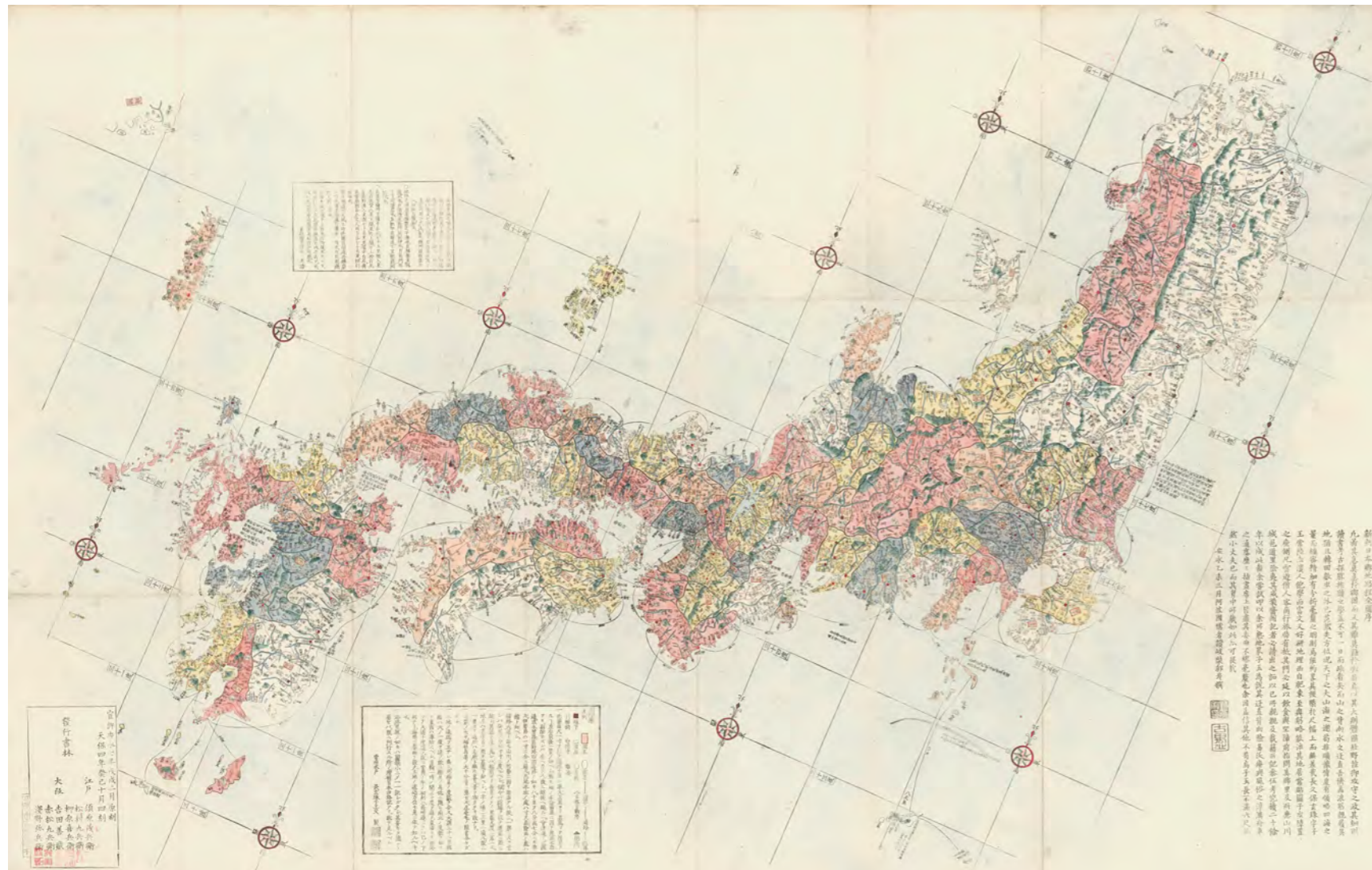
オランダ人のヤン・ホイフェン・ファン・リンスホーテンによる『東方案内記』に収録された付図。当時東方貿易を独占していたポルトガルの機密情報(海図)を写したとされ、主要港や布教拠点などが示されている。左上にエビのような形の日本が見え、当時の共通通貨であり、日本が世界産出量の3分の1を占めた銀の鉱山も描かれている。『東方案内記』はヨーロッパ各地で出版され、オランダやイギリスの東アジア進出に寄与することになる。(ゼンリンミュージアム蔵)

ブランクス/モレイラ「日本図」

1617年/イタリア・ローマ刊/銅版/47.8×74.6cm

ポルトガルの地図製作者イグナシオ・モレイラの原図を基に、クリストフォロス・ブランクスが銅版を作成した、「世界標準」となった日本図であり、初めて「蝦夷」が描かれた日本地図。モレイラは2年の日本滞在期間中に鹿児島から京都までの西日本を測量し、それ以外の地域は各地の大名などから情報を集め、初めて実態に近い日本図を製作した。イエズス会巡察師のヴァリニャーノの手稿に差し込むための試し刷りとみられる。未刊のままとなったこの印刷地図は世界で1点しか見つかっていない。(ゼンリンミュージアム蔵)





「改正日本輿地路程全図」の関西と関東の部分。全国約6,000もの地名が記されており、眺めるだけで楽しい。

長久保赤水
「改正日本輿地路程全図」
 1833(天保4)年/木版/
 85.0×133.0cm

長久保赤水が1779年に製作した、「日本輿地路程全図」の改訂版。北緯線を記載した初期の日本地図で、通称「赤水図」。「伊能図」が幕府により門外不出とされていたのに対し、「赤水図」は庶民に大変な人気を博し、彼の存命中に15以上も改訂され、1801年に亡くなった後も増版が続けられ、明治初期まで広く使われた。改訂のたびに修正が加えられ、例えば下北半島の形状が変化したり、海路や郡名が加筆されたりしている。(ゼンリンミュージアム蔵)



近江新報社「名所旧跡 大津市街地図 商工業家案内」 1914(大正3)年/54.5×79.0cm
 第三章にある、近江新報社編纂の大津市街地図。市街地や山岳地帯が色分けされ、商店の屋号などが記されている。周縁には商店や旅館の情報が掲載され、広告の役割もあつたとみられる。(ゼンリンミュージアム蔵)

情報量の多さと正確さで庶民の間で大いに活用され、増版が続けられた。

正確さの追求

第二章は「伊能図の出現と近代日本」。隠居後の55歳から実測による地図作りを始めた伊能忠敬だが、最初は1歩を69cmで歩いて測る歩測だったそう。第1次から第10次まで17年間の測量の足跡や、使われた道具についての解説もある。床に広がっているのは、原寸の「大日本沿海輿地全図」。伊能図は縮尺によって大図、中図、小図の3種類あり、この床の地図は8枚で日本列島が構成される中図だ。原寸の伊能図を見渡すというのは、ほかではちょっと味わえない感動である。

今年5月、日本地図学会が、新たに見つかったと発表した「伊能小図」の副本はゼンリンミュージアムの所蔵品。

レプリカが8月29日まで展示されているので、訪ねた際はぜひ見ておきたい。同館はどの地図もガラス越しの展示ではなく、パネルや額に入っているのではなく、近づくにつれてじっくり見られるのが特徴。拡大鏡も用意され、細部まで観察がで



床に原寸展示されている「伊能中図」。江戸時代後期、伊能忠敬は17年の歳月をかけて全国を測量し、日本で初めて実測に基づく正確な日本全図を完成させた。幕府は、軍事的観点から海外への流出を防ぐため「秘図」として扱った。伊能小図の副本と見られる「実測輿地図」も公開されている(原本保全のためレプリカでの展示)。

きる。第三章は「名所図会・観光案内図・鳥瞰図の世界」。江戸時代から現代まで、さまざまな用途で作られた地図が並ぶ。デザインや色が凝っていて、眺めるだけでも楽しい。大正時代の市街地図は、

周りに写真や電話番号入りの旅館や商店の広告を掲載。当時としては最先端の情報であり、地図が人の暮らしに身近で貴重なものだったことがうかがえる。常設展をじっくり見て回ると、1~2時間があつという間。なかには一日見



マップデザインギャラリー小倉。ゼンリン保有の日本の詳細な地図情報や、所蔵している西洋の古地図をデザインした文具や雑貨などを販売している。

ている人もいそう。また、建物1階には地図デザイン商品を販売する「マップデザインギャラリー小倉」もあるので、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

謎解きの面白さ

小学生の頃から地図が大好きだったという佐藤館長。地図の魅力を改めて伺うと「推理小説の謎解きをするような面白さがあります。地図を読み込んで現地を想像し、実際に行って答え合わせをする。帰ってきたらまた地図を見て振り返ります。いわば追体験。子どもの頃から変わっていません」と笑う。川の合流地点や、川底が周辺の土地よりも高くなっている天井川など特徴的な地形を見ると、実際に足を運びたくなるという。

紀元前に生まれた地図は、布教活動や国策事業、国防、観光案内とさまざま



ゼンリンが製作した「小倉俯瞰図」の前に立つ佐藤館長。「小倉俯瞰図」は二次元の地図データに高さ情報に加え、カーナビ用に集積した現地情報や車両で撮影した画像、航空写真を組み合わせて製作。川の映り込みまで丁寧に表現されている。

まな目的で製作され、進化を遂げてきた。そして今、それらができた背景を想像し、遠い過去に思いをはせる楽しみを私たちに与えてくれている。

- ゼンリンミュージアム：福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州14F/☎093-592-9082/10時~17時(最終入館16時30分)/月曜日休館(祝日の場合は翌平日休館)/入館料1000円
<https://www.zenrin.co.jp/museum/>

時代の流れを感じながら歩こう!

歴史めぐり、
町歩きを楽しむ
さまざまなツール

スマートフォンアプリの紹介

この場所は、昔はどうなっていたんだろう? 散歩していて、そんなことを考えたことはありませんか。そんなときに使ってみたいアプリをご紹介します。

歴史の舞台となった場所。故郷。旅で訪れた街。

地図を眺めながら、いまではビルに変わってしまった幼少期に遊んだ空き地を懐かしんだり、偉人が歩いていたであろうかつての景色をイメージしながら散歩を楽しんでみたりしませんか。地図をみているだけでも時代の変遷を楽しむことができます。

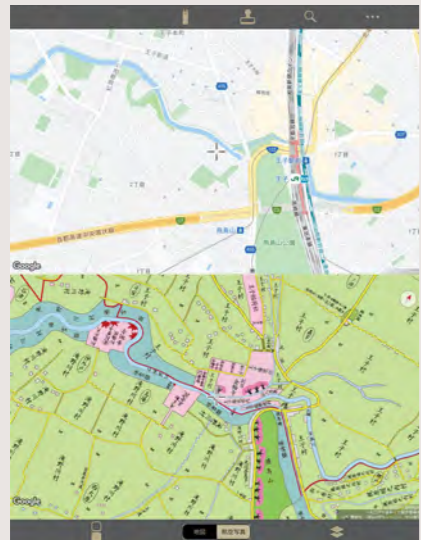
「大江戸今昔めぐり」

iPhone・android
大江戸今昔めぐり製作委員会



江戸末期の古地図をもとに、「完全描き起こし」で再現された地図です。古地図と現代地図を見比べられます。重ね合わせや分割などの表示が選べ、古地図の文字も見やすくなっています。

また、対応エリアが江戸以外にも、川越、駿府(静岡市)と拡大中なのも楽しみです。



今と昔の川のの流れを見比べると、治水工事により川がまっすぐになっています。このように、かつての川のの流れの痕跡を見つけて歩くのも、古地図の楽しみ方です。

上の地図は、日本特殊塗料・本社の所在地である、王子駅(東京)周辺です。上下分割の表示にしています。

「古地図散歩」

iPhone・android
合同会社四時舎



明治時代から現代までのさまざまな地図や航空写真を重ねて表示することができます。地図の透過度は自由に変えることができます。

右の地図は、明治初期ごろのもので、地図の場所はどこでしょうか? 答えは、現在の渋谷(東京)。中心一帯が代々木公園ですが、明治時代なのでまだ明治神宮はありません。



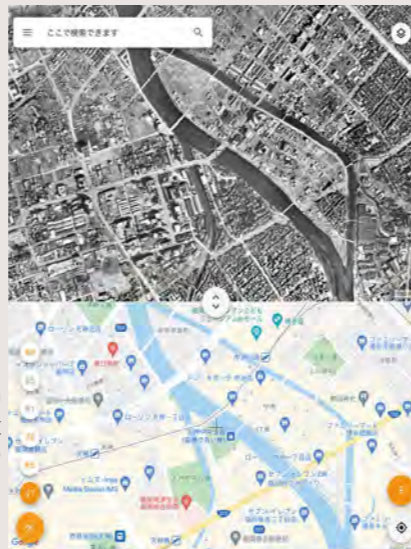
「昔の航空写真地図」

iPhone・android
Wana Kijiji



1945年以降の航空写真を、現代地図と見比べられるアプリです。上下左右に分割して表示できます。

右の写真は、1945~50年ごろの中州(福岡)の航空写真です。地形や道路はほぼ同じように見えますが、街の様子はほとんど全く違います。アプリを使えば、戦後に街が復興していく姿を地図上で見ることもできます。



ウォーキングマップの紹介

旅先で、健康にいいから……。そんなときに役に立つのが、自治体などが出しているウォーキングマップの情報です。

地域の特色を生かしたコースを設けてあるのが特徴で、町のインフォメーションでも手に入りますが、スマートフォンで「ウォーキングマップ」と検索するだけで、たくさんのコースを見つけることができます。

●ちよだ歴史さんぽMAP
(一般社団法人千代田区観光協会)



東京都千代田区は東京23区のほぼ中央に位置する区です。中央に皇居があり、区域はかつての江戸城の外濠の内側部分とほぼ一致していて、外郭を含めた城址にあたる場所です。第4弾まで発行されています。

●北区ウォーキングコースガイド
(東京都北区)



日本特殊塗料の本社もある東京都北区は、「北区ウォーキングコースガイド」を出しています。また、「観光ガイドマップ」もウォーキングコースとなっており、観光名所を気軽にめぐることができます。

●街道ウォーキングマップ
(歴史街道推進協議会)



街道にスポットを当てて作成されたウォーキングマップです。古くは情報の伝達、輸送など、人とモノ、文化がゆきかった「みち」。街道に沿っておすすめスポットがエリアごとに紹介されています。

●駅から始まるいつでも散策
(JR九州サービスサポート)



JR九州サービスサポートが作成しているお散歩マップだけに、いずれも駅発着なため、地図も見やすくわかりやすいのが特徴です。緊急連絡先として、発着駅の電話番号が記載されているのも安心です。

新しい日本地図「プラトー(3D都市空間情報プラットフォーム)」



プラトーは日本の都市を3Dデータとしてサイバー空間化した、いわば新しい日本地図です。googleマップは有名ですが、これが単なる画像のようなものであるの比べ、プラトーはビルの外壁や屋上の区別、駅や学校といったその施設の役割だけでなく、BIM(ビルディングインフォメーションモデリング)を統合されており、窓や手すりなどの属性情報を保有し、それが都市スケールで細かく情報化されているという点で革新的なのです。地図は、いま新たな時代を迎えています。

コロナ禍の2020年4月、国土交通省は、「Project PLATEAU(プラトー)」の公式サイトを発表。「PLATEAU VIEW」というWebアプリを使って、すでに東京23区

などの3D都市モデルを体感することができます。今後、全国56都市が順次オープンデータ化され、完成すれば世界最大規模のサイバー空間となる予定です。

プラトーはミラーワールドと呼ばれる、現実の都市のすべてが1対1でデジタル化された世界を構築するためのプラットフォームです。オープンデータであるプラトーには、企業、自治体、個人、誰もが自由にデータを重ね、引き出し、活用できるようになっています。

プラトーに既存の地理空間情報(GIS)を重ねられるのはもちろん、高度な情報化は、自動運転に対応する精緻なモデルから都市スケールの簡素なモデルまで、活用する場

面ごとに応じた解析やシミュレーションをできるのが特徴です。建築業界を例にとると、遮熱塗料を塗装した場合の熱負荷シミュレーションやカラーシミュレーションを建物単位ではなく都市の中で実施でき、さらにビッグデータとして活用していくなど、アイデアしだいで活用の幅は無限大です。

インターネットが自由に使えるようになって世界はどうなったか。私たちはオープンなプラットフォームを使うことによって、世界が変わってきたことを知っています。

プラトーは、これからのまちづくりやビジネス、人々の生活を大きく変える可能性を秘めています。すでにユースケースがいくつか公開されていますのでご紹介します。

時系列浸水シミュレーションデータの3D可視化

水害時に時系列で浸水が広がる様子を、3D都市モデルを用いてシミュレート。時間軸を意識した避難計画や避難ルートの検討材料とすることで、地域の防災力向上を目指します。



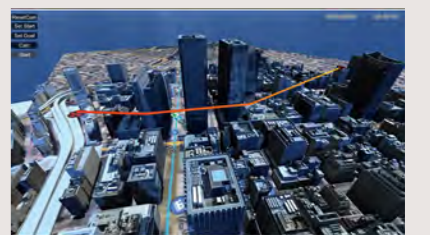
バーチャルと現実の銀座とが連動したエンターテインメント・コンテンツ

「バーチャル銀座」を舞台に、ゲーミフィケーションを通じた回遊体験を提供するPCアプリを開発。ゲーミフィケーションを通じた現地訪問への関心喚起、地域活性化の可能性を検証しています。



物流ドローンのフライトシミュレーション

高層ビルが立ち並び都市部における安全かつ効率的なドローン航行の実現に向け、3D都市モデルを活用したフライトシミュレーションを実施し、その有用性を検証しています。



株式会社松田敏商店

社長就任直後に東日本大震災を経験したこともあり、主体的に動くようになりました。受け身ではなく、“攻め”の姿勢で営業を続けながら、塗料を身近に感じていただけるような取り組みを積極的に推進していきたいですね。



代表取締役 **岸田 拓**



2021年3月に本社で開催されたイベントの様子。「社内イベントとして私が企画しました。2日間で54人のお子様が登場しました。親も含めるとだいたい100人くらい。社会貢献という大げさですが、子どもやご家族が塗料に触れて楽しんでもらえたらうれしいです」(岸田社長)。

近畿地方の政治・経済・文化・交通の中心都市、大阪市。瀬戸内海に面していることから、古くから港湾都市として栄えてきました。また、中世は城下町として、近年は工業都市として発展。現在は、アジアにおける世界都市として日本の玄関口にもなっています。

* *

その大阪市に本社のある株式会社松田敏商店をお訪ねし、代表取締役の岸田拓さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●終戦後間もない1947(昭和22)年7月です。塗料メーカーに勤めていた松田敏夫が、メーカーの代理店制度を利用して創業したようです。

■業務内容をお聞かせください。

●当初は港湾関係のお客が多く、橋梁などの重防食塗料をメインに販売していました。現在は、売上構成でいいますと、建築関係塗料が3割、重防食塗料が3割、船舶関係の塗料が2割、その他が2割くらいですね。その他には塗り替え工事も含まれます。

■建築関係の塗料が増えたのはいつごろからでしょうか？

●平成に入ってからです。インフラ整備が一段落し、重防食塗料のマーケットが小さくなり、建築関係の塗料の販売量が増えるようになりました。

■塗装工事の分野へ進出されたのはいつでしょうか？

●最初は1998(平成10)年ですが、2005年ごろに一度終了しました。それを私がペイントプロデュース部として復活させたのが2013年です。ただし、以前はタンクなど港湾関係の設備が多く、B to B(企業間取引)の仕事でしたが、今回の部署はB to C(消費者直接取引)である戸建住宅の塗り替え専門チームです。社長就任後に立ち上げました。

■社長ご就任はいつでしょうか？

●10年前の2011年3月です。2007年ごろに先代社長(現会長)が体調を崩し、娘婿である私に話がありました。私はまったく違う業種の会社にいたのですが、異分野でチャレンジしようと、妻以外の周りの全員が反対するなか、2009年、36歳のときに入社して、2年後に5代目社長に就任しました。



中之島にある大阪市中央公会堂。1918(大正7)年に建設された、煉瓦の赤が美しい洋風建築で、国の重要文化財に指定されている。

■受け身ではなく攻めの姿勢で

■経営方針をお聞かせください。

●いつも心掛け、モットーとしている言葉は「追われずに追う」です。たとえば、お客様からの電話を待つのではなく自分から電話する。先手を取って情報を得て、お客様に伝えるという“攻め”の姿勢にこだわっています。単なる受注ではなく、情報を獲得して主体的に動くということですね。

■そのために具体的に取り組んでいることをお聞かせください。

●毎朝、入札情報などは常にチェックして社内で回覧していますし、会議のときにそれを細分化して指示・共有しています。各部署のトップもお客様に積極的に話をするようになり、会社の空気が変わりつつあると感じています。

■ご就任後、印象に残っている出来事

をお聞かせください。

●昨年2020(令和2)年4月の新社屋の完成です。私にとってはいちばんうれしい出来事です。前の社屋は築40年以上で老朽化していましたし、社員のモチベーションも上がりました。それから、就任5日目に起きた東日本大震災ですね。春先で大きな案件が動く予定でしたが、塗料が届きませんでした。目の前に仕事があるのに動けない。あのときの不安は忘れられません。

■“攻め”の意識が強くなったのも震災の影響でしょうか？

●戸建住宅の塗り替え工事の仕事をどんどん取っていくという姿勢につながったかもしれません。重防食の仕事は受け身になりがちですが、B to Cの場合、自分の力で動かなければなりません。主体的に動ける事業分野を大きくしていくことですね。



大阪港・天保山公園の近くにある本社。左の写真の正面に見えるのが新社屋で、右の写真の奥が日本社屋。「塗料販売店としての創立は大阪市内でも早いほうで、最初が2番目だったと聞いています。来年は創業75周年。将来を見据えて100周年を目指したいと思っています」(岸田社長)。



新社屋事務所。きれいに色分けされ、明るい雰囲気。

■塗料をもっと身近に感じてもらう取り組み

■ニットクとはいつごろからお付き合いされていたのでしょうか？

●1952年 自動車用補修塗料「アンダーシール」かららしいので、取引は古いです。いまは塗り床材が多いですね。「ユータック」をメインとして、「パラサーモ」をはじめとした屋根用塗料や「プールエース」をよく扱っています。■いま、どのようなことが塗料に求められているとお考えでしょうか？

●私も現場に行ってお客様と接しますが、いちばんニーズが高いのは遮熱塗料です。高価でも耐久年数が長い無機塗料の問い合わせも増えています。一般ユーザーの塗料への意識は、ここ10年で劇的に変わったと思います。

■これからの業界に必要なと思われることをお聞かせください。

●塗料のマーケットはどこにでもあり肌で感じています。道を歩いていても車に乗っていても、目に付くところに塗料が使われていない場所はありません。以前は塗料の身近さを知りませんでした。業界に入って市場が開けて見えるようになりました。また、一般ユーザーと塗料の距離があることにも気づきました。私たちが販売店とし

てその距離をもっと縮めたいと強く思います。

■そのために取り組まれていることがあればお聞かせください。

●子どもたちに塗料で壁に絵を描いてもらったり、塗料を使って工作したり、絵画展を開いたり、家族で参加でき、塗料を身近に感じていただけるようなイベントを開催しています。

■これからの会社のビジョンをお聞かせください。

●世の中の役に立ちたいとは常に思っています。70年以上の経験を基本として、いままで以上にメーカーさんとの関係を深くし、幅広い塗料を販売しながら社会に貢献していきたいですね。

■趣味をお聞かせください。

●キャンプによく行きます。とくに冬は社員や友人と一緒にほぼ毎週出かけしていました。夏よりも空いていますし、空気が澄んでいるので星がきれいに見えます。最近は登山の道具も揃えました。きっかけは運動不足ですね(笑)。1000m級の山に登りたいと思います。

■本日はどうもありがとうございました。

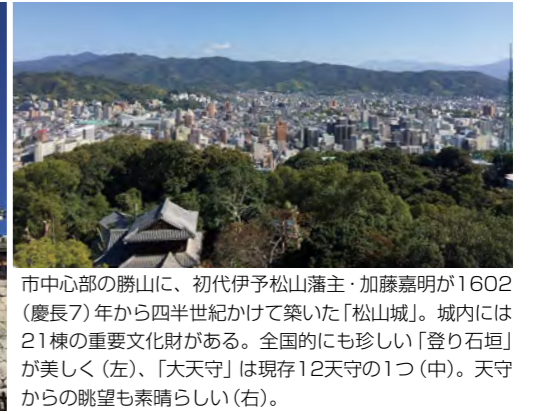
PROFILE

- 株式会社 松田敏商店
(近畿・北陸日特会会員/近畿・北陸ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業/1947(昭和22)年7月
- 資本金/1,000万円
- 代表者/代表取締役 岸田 拓
- 所在地/〒552-0021
大阪市港区築港4丁目7番12号
電話(06)6572-6451
フリーダイヤル 0120-522-224
FAX(06)6576-1613
HP: https://matsuda-toshin.co.jp
- 取扱製品/塗料販売(卸売・小売)、塗装工事全般、塗装設備機器類の販売、抗菌・抗ウィルス施工
- 従業員数/11名

日光塗料店

ニットクさんの「スレコート」をきっかけに、屋根専門の塗装店としてスタートしました。これからも、地元で根付きながら、「製・販・装」一体となり、共存共栄で発展していきたいと思えます。

代表 **光田 邦夫**



市中心部の勝山に、初代伊予松山藩主・加藤嘉明が1602（慶長7）年から四半世紀かけて築いた「松山城」。城内には21棟の重要文化財がある。全国的にも珍しい「登り石垣」が美しく（左）、「大天守」は現存12天守の1つ（中）。天守からの眺望も素晴らしい（右）。

愛媛県のほぼ中央に位置する、四国最大の都市・松山市。松山城を中心に発展してきた旧城下町で、約3000年の歴史を誇り、日本最古の温泉といわれる道後温泉で有名な温泉地であるとともに、県の政治・経済の中心都市として成長を続けています。

* *

その松山市にある日光塗料店をお訪ねし、代表の光田邦夫さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●私の父親で先代が1968（昭和43）年の秋に創業したと聞いています。勤めていた商社の同僚と一緒に2人でスタートしたようです。当初は、塗装店があまり手がけていなかった屋根の塗装工事をしていたようです。

■屋根塗装から始めたきっかけをお聞かせください。

●高所に上がることもあり、当時は屋根に特化した塗装店がなかったからだと思います。先代が商社に勤めていたときからニットクさんの製品、とくにセメント互用塗料「スレコート」を気に入っていたようで、工事に自信があ



店舗前のトラックを前にした光田さんの父親で先代の光田富弥さん。荷台には「スレコート」が積まれている。「先代はニットクさんの仲西太郎元会長とかなり懇意にさせていたでいました。初めの販売契約書も太郎さんの署名です」（光田さん）。

ったのかもしれませんが、商号の「日光塗料店」の「日」は日本特殊塗料の「日」からいただき、名字の「光田」の「光」を合わせたという話も聞いていますので、かなり親しくしていたと思います。

■ほかにどのような製品を扱っていたのでしょうか？

●ニットクさんの製品がメインで、昭和50年ごろからは互用塗料「九重」、建築用塗料でいえば複層模様吹付材「嵐山」などの取引もありました。その

ころは並行して塗料の販売もしていました。現在は塗装工事の仕事はなくなり、販売業務だけになりました。

■その理由をお聞かせください。

●昭和60年ごろから屋根塗装がライン塗装に代わり、現場塗装の需要が少なくなったからです。いまはニットクさんの塗り床材「キュータック」シリーズ、建築用塗膜防水材料「ブルーフロン」などを中心に販売しています。

■頼られる営業へ

■ご入社はいつでしょうか？

●昭和60年です。大阪の学校を卒業してすぐに入社しました。入社前から何度か補助という形で現場を手伝ったことがあります。昭和49年のオイルショック時は小学生でしたが、入って

きた塗料がすぐに売り切れ、店舗に塗料がない状態だったことを覚えています。材料がなく、「スレコート」も、40色くらいあった標準色が6~7色になった時期もあったと記憶しています。

■印象深い出来事をお聞かせください。

●入社して1年ほどたって、店にあった「塗料商品名集」という、厚さ5センチくらいの資料を眺めていた時期がありました。2週間くらいたったころ、商品名の問い合わせがあったら、どのメーカーの製品でどのような内容なのかすぐに答えられるようになっていました。また、早くからワープロを買っていたこともあり、お客様の仕様書や施工要領書を作成して営業もしました。単なる御用聞き営業ではなく、主体的に動くようになり、便利屋さんとして重宝されました。



天井が高く、明るい雰囲気の新店舗の事務所。

■代表ご就任はいつでしょうか？

●13年前、47歳のときです。先代が亡くなり、そのまま引き継いだ形です。

■モットーをお聞かせください。

●できることを実行するという意識があります。昔からのお客様や、独立された新しいお客様もほとんど地元の松山市内です。営業範囲を広げてもお客様に対しても負担や迷惑がかかります。いまのお客様とのより親密な関係を心がけています。

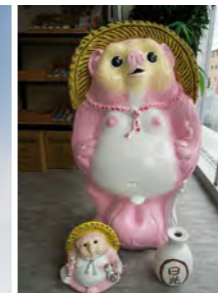
■塗料に対するお客様の要望は変化していると感じでしょうか？

●いま、フッ素に加え、無機系塗料が注目されていますが、そのなかでもさまざまなランクがあります。塗る立場としてフッ素と無機はどう違うのか、自分たちが扱っている塗料がどのくらいのレベルなのか把握したいという思いがあるようです。売る立場としても、お客様に説明しやすくなります。

■明るく広い店舗に

■エポックメイキングになった出来事があればお聞かせください。

●入社4年後の1989（平成元）年、ア



2021年初めに竣工した、正面をガラス張りにした新店舗。1階にはピンクのタヌキが置かれ、訪れた人を出迎える。「先代が買ってきて、何十年も家の前に置いていた信楽焼のタヌキを、お客様にピンク色に塗っていただきました。上塗りのクリヤーはニットクさんの塗料です。映えるので、外から見える場所に置いています」（光田さん）。



14世紀前半から約250年間続いた湯築城跡。堀や土塁などが現存するほか、武家屋敷や土堀を復元している。国指定史跡。周辺は道後公園として整備され、桜の名所としても知られる。



メリカへ1週間ほど研修に行った時に、シカゴの工場を見学したのですが、職場の広さ、天井の高さに驚きました。いまは昔に比べるときれいになりましたが、日本の工場は狭く暗い印象があったので、ギャップを感じました。道路の拡張工事にともない店舗を建て替え、今年初めに竣工したのですが、あのかの経験をもとに天井を高くし、外光を取り入れた明るい店舗にしています。

■これからの会社のイメージをお聞かせください。

●私たちが販売するのは半製品で、お客様が仕上げた製品になります。限られた市場で製・販・装が知恵を出し合いながら、共存共栄という形で業界全体が発展していくような形になればいいと思います。

■趣味をお聞かせください。

●興味の幅は広いのですが、強いて言えばいまはカメラですね。出張した時などは時間をつくってその地を歩いてスナップ写真を撮っています。この1年はなかなか行けませんが、LINEやFacebookなどのSNSにアップしています。

■本日はどうもありがとうございました。

PROFILE

- 日光塗料店
(四国ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業/1968(昭和43)年
- 代表者/光田邦夫
- 所在地/〒790-0064
愛媛県松山市愛光町1番10号
電話(089)925-3791
FAX(089)925-3803
HP: <http://www.paint21.com>
- 主な取り扱い品目/建築外装用塗料、防水材、重防食塗料等
- 従業員数/4名

●お知らせ
第115期「定時株主総会を開催」

2021年6月24日、本社において第115期定時株主総会を開催しました。
コロナ禍の影響から、従来お借りしていた外部会場が使用できなくなったこともあり、今回は会場を変更し、新しい本社では初めての開催となりました。
新型コロナウイルス感染症、特に変異株感染の収束時期が見せない中、株主の皆様には議決権の事前行使（出席自粛）、あるいは厳重な感染症対策にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

当日の議事につきましても、説明内容を一部簡略化させていただきましたが、議長（田谷社長）による第115期の事業・決算内容の報告、決議事項の説明、その後の採決と滞りなく進行し、全議案とも多数の賛同を得て原案通り承認可決されました。
具体的には、剰余金の処分については期末配当金を1株につき21円（年間で38円）とすること、取締役10名の選任（再任）および補欠監査役1名の選任（再任）、さらに取締役（社外取締役を除く）に対する

譲渡制限付株式付与のための報酬決定の件を決議・承認いただきました。
なお、株主総会後の取締役会において、野島会長、田谷副会長、遠田社長の就任を決定し、新体制のスタートを切ったところですので、ご協力をいただきました株主の皆様には改めて感謝申し上げますとともに、今後ともお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



▲遠田新社長



▲感染症への厳重な対策をして開催された株主総会



▲議長の田谷社長



▲株主総会

■自動車製品事業本部
武漢日特固汽车零部件有限公司「常福工場」、本格稼働開始！

中国・武漢市にある当社子会社「武漢日特固防音配件有限公司 (WNA)」は、武漢市に3つ目の工場となる常福工場を建設し、本格的な稼働を開始いたしました。また、常福工場は、新たに設立したWNA子会社（武漢日特固汽车零部件有限公司）の工場となりました。
中国自動車市場の拡大を見据え、70,000㎡（約21,000坪）の広大な敷地を確

保し、将来的には複数の工場棟の建設を計画しています。常福工場は、武漢に進出する日系カーメーカーの工場近くに位置し、高品質な自動車向け内装部品（防音部品）の中国における一大生産・供給拠点となる見込みです。
WNA社は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020年には工場の稼働を一時的に停止する事態となりました。工

場建設も当初計画より遅れましたが、現在は感染症対策も進み、市場動向も好調なことから、今後の成長が大きく期待できます。
当社グループは、引き続き国内外の生産拠点の整備・拡充に努め、さらなる事業拡大と収益力強化を図ってまいります。



▲WNA完成予想図

●お知らせ
「投資家向けのオンライン決算説明会を開催」

2021年6月2日、本年は初の試みとしてオンライン形式（Zoomを用いたWEB開催）で、投資家向けの決算説明会を開催いたしました。
一昨年までは外部会場にて開催し、昨年はコロナ禍において開催を見送っていましたが、本年はデジタル化・効率化推進の観点も考慮し、IR支援会社の協力のもと、初のオンライン開催に踏み切りました。
2021年の年明け1月から検討を開始し、情報システム部門や事業継続・DX推進

室の協力を受けながら準備やリハーサルを積み重ね、何とか無事に開催することができました。当社としてもデジタル化推進の良い経験ができたと考えています。
当日、本社内の会議室では、WEBカメラやPC、さらに飛沫感染防止のパネル等を配置して「密」な状況をできるだけ避けながら、一方のオンライン上では、30名弱の投資家・マスコミの皆様に参加いただきました。
前半は執行役員・力武財務部長より、第115期決算と第116期計画のポイントに



▲オンライン決算説明会が開催された本社会議室

ついて、後半は当社の事業概要や今後の成長戦略などについて田谷社長よりご説明し、その後は自動車の電動化が当社業績に与える影響やESGへの取り組みについ



▲Zoomでの説明会の様子



▲執行役員・力武財務部長



▲田谷社長

て等、参加者からの質疑応答を受けました。全体で約1時間、当社グループの事業、業績についての理解を深めていただくことができたと感じています。
対面での開催とは異なり、お互いの顔

が見えない中、参加者の興味、関心がどこにあるのか、その反応をとらえることの難しさも体感し、今後の開催方法の改善、検討を含め投資家の皆様との対話のさらなる充実にも努めてまいりたいと考えています。

なお、説明会で使用した資料については、当社ホームページにも掲載しておりますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

街を彩るニットの製品



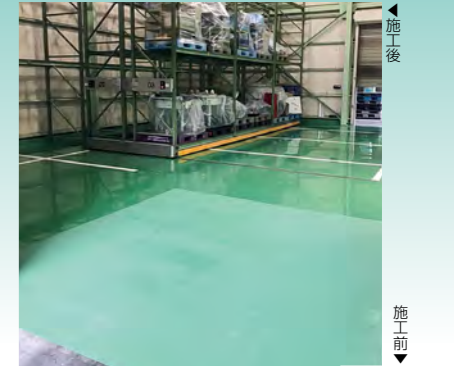
■三菱製紙北上事業所 5RC棟1RL床塗装工事(岩手)
塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」SD-1工法/252㎡
塗り床材「ユータッククリーンE」SD-2工法/1,118㎡
建設/三菱製紙エンジニアリング(株)
施工/㈱TERUI



■東北丸和ロジスティクス盛岡営業所修繕工事(宮城)
建築屋根用遮熱塗料「パラサーモシロコン」/4,950㎡
施工/㈱TERUI



■某化粧品倉庫床(埼玉)
下地処理兼用プライマー「NTミラクルファイラー」
塗り床材「ユータックスーパーFハードN」ハード
流し展べ工法/500㎡
施工/㈱栄塗技建埼玉



■某食品会社倉庫床(埼玉)
塗り床材「ユータックE-30N」/300㎡
施工/㈱アイエフ



■東毛工業用水道(群馬)
水道用コンクリート水槽内面保護塗料「ガードブルーF」/2,000㎡
施工/㈱サンテック



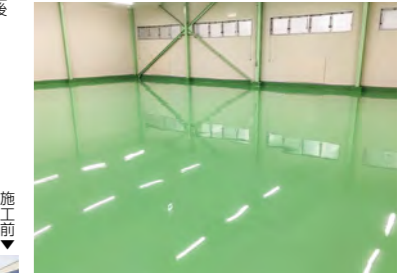
■某工場床(群馬)
帯電防止用塗り床材「ユータック
クリーンE」SD-2工法/450㎡
施工/㈱タナカペインティング



■東スポーツセンター(埼玉)
光触媒塗料「エヌディオG」/1,400㎡
施工/協和創建(株)



■日本イースード(株)本社工場(埼玉)
金属屋根用塗料「マッキンレーN」/500㎡
施工/㈱日本アステック



■某食品工場床(埼玉)
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータック
コンプライト」CPGU-3F工法/300㎡
施工/㈱栄塗技建埼玉



■某店舗屋上駐車場(群馬)
超硬化塗膜防水材「NTスプレータイプH」NC-SH30UTR工法/1,815㎡
施工/㈱テッシン



■某精密機器工場床(群馬)
塗り床材「ユータックE-30N」コーティング工法/800㎡
施工/㈱栄塗技建埼玉



■府中市立新町小学校校舎外壁及び屋上防水等維持改修工事(東京)
建築外装用塗料「シルビアサーフ+シルビアWF#400」/4,700㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/2,000㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法/220㎡
設計/府中市役所
元請会社/信和建設(株)



■本宿体育館外壁及び屋上防水等維持改修工事(東京)
建築外装用塗料「シルビアサーフ+シルビアWF#400」/800㎡
超硬化塗膜防水材「NTスプレータイプS」NY-SS30ES工法/920㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法/400㎡
設計/府中市役所
元請会社/田丸屋建設(株)



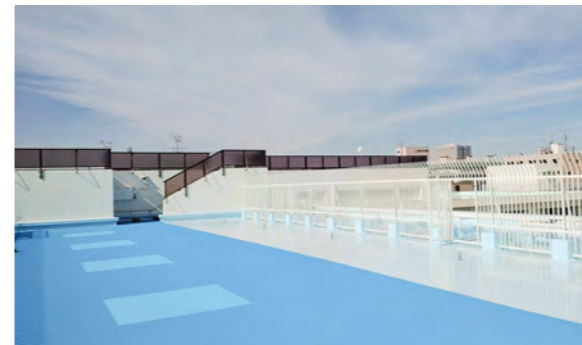
■某工場床(群馬)
塗り床材「ユータックE-30N」/300㎡
施工/㈱タナカペインティング



■前橋市民文化会館大胡分館シャント(群馬)
超硬化塗膜防水材「NTスプレータイプS」NY-SS20S
工法/260㎡
施工/㈱テッシン



■㈱サンリツエレクトロニクス(埼玉)
建築屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」/4,500㎡
施工/㈱アケボノ



■川崎市某小学校(神奈川)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-1断熱機械固定工法/910㎡
超硬化塗膜防水材「NTスプレータイプS」鋼板屋根仕様/770㎡
施工/福吉塗装(株)

街を彩るニットの製品



■藤沢鶴庵厨房床工事(神奈川)
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータックコンプリート」CPM-4N工法/約20㎡
施工/株式会社、株式会社

■静岡大学プール改修工事(静岡)
プール用塗料「プールエース」文部科学省仕様PEF-1工法/1,120㎡
カラー舗装材「ユータックテクノ遮熱ONE」プールサイド遮熱ローラー防滑工法/895㎡
建設・施工/株式会社



■焼津グランドホテル スポーツコート(静岡)
カラー舗装材「水性ユータックAS」コーティング軽防滑仕様/1,070㎡
施工/株式会社



■自動車関連部品成型工場新築工事(愛知)
塗り床材「ユータックE-40」コーティング工法/5,000㎡
施工/株式会社

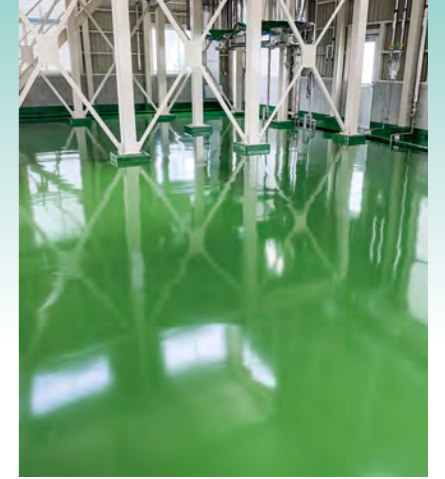
■物産フードサイエンス名古屋工場 第二曝気槽FRP改修工事(愛知)
断面修復用モルタル「シヨクイック」/1,200㎡
防食被覆材「タフバリア」#200 D種/1,200㎡
施工/株式会社



■V・J硫酸タンク防液提塗装工事(三重)
塗り床材「ユータックVE-100」2プライ工法ユータックR仕上げ/1452.6㎡
塗り床材「ユータックVE-100」フレック工法ユータックR仕上げ/70.2㎡
設計・建設/HMPLAN株式会社
施工/ライニング技術工業株式会社



■木津川市中央交流会館外壁等改修工事(京都)
高弾性外壁防水塗料「ハイブルーフ」ハイブルーフ上塗WS仕上げ/980㎡
施工/株式会社



■寺田薬業工業株新築工事(京都)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/300㎡
施工/古賀工業株式会社



■株式会社 八尾久宝寺給食センター新築工事(大阪)
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータックコンプリート」CPG-4F工法/1,220㎡
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータックコンプリート」CPGL-6N工法/190㎡
建設/中川企画建設株式会社
施工/アサヒカラコン株式会社



■某マンション屋上防水工事(愛知)
建築用塗膜防水材「ブルーフレコDX」PK-D30S工法/550㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフレコDX」PGT-D20S(立上り)/50㎡
施工/株式会社



■三好丘小学校プールサイド塗装工事(愛知)
カラー舗装材「ユータックテクノ遮熱ONE」ローラー防滑工法/667㎡
建設/加藤建設株式会社
施工/株式会社



■某鮎飼育場(岐阜)
FRP防水材「タフシール」TSF-JW工法/5,000㎡
設計/岐阜県
建設/株式会社
施工/株式会社



■株式会社 加西工場新設工事(兵庫)
高弾性外壁防水塗料「ハイブルーフ」標準工法ハイブルーフ上塗フッ素仕上げ/960㎡
施工/株式会社



■株式会社 坂井倉庫(兵庫)
高弾性外壁防水塗料「ハイブルーフ」標準工法ハイブルーフ上塗フッ素仕上げ/760㎡
施工/株式会社



■KY神戸ビル建物改修工事(兵庫)
高弾性外壁防水塗料「ハイブルーフ」大波工法ハイブルーフ上塗WF仕上げ/350㎡
施工/株式会社



■安城北部学校給食共同調理場(愛知)
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータックコンプリート」CPL-6N/550㎡
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータックコンプリート」CPMT-4N工法/40㎡
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ防滑工法 T=2/900㎡
設計/安城市
建設/株式会社
施工/株式会社、株式会社



■鳥取市用瀬町総合支所外壁塗装工事(鳥取)
弾性タイプ断熱塗料「NTダンネツコート」建築外装用遮熱塗料「水性パラサーモ外壁用」/1,291㎡
施工/株式会社



■某物流倉庫新築工事(岡山)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/15,000㎡
施工/株式会社

街を彩るニットの製品



■某工場塗り床工事(徳島)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/900㎡
施工/㈱下村塗装



■世良仏壇店(愛媛)
建築外装用塗料「シルビアセラティー-N」/865㎡
施工/ペイントアート



■某整備工場床改修工事(福岡)
塗り床材「ユータックスーパーハード」ハード流し展べ工法/50㎡
施工/㈱豊和



■AIMビル6階ルーフェッキ防水改修工事(1期工事)(福岡)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」X-1工法/1,262㎡
元請/鹿島建設㈱
施工/有(大西工業



■牟田商会外壁改修工事(福岡)
弾性タイプ断熱塗料「NTダンネツコート」
建築外装用塗料「パラサーモシリコン外壁用」/600㎡
施工/㈱成清塗装



■某食品工場塗り床(広島)
塗り床材「ユータックオリゴマー」流し展べ厚膜工法/291㎡
塗り床材「ユータックオリゴマー」樹脂モルタル工法/637㎡
施工/㈱フジイ



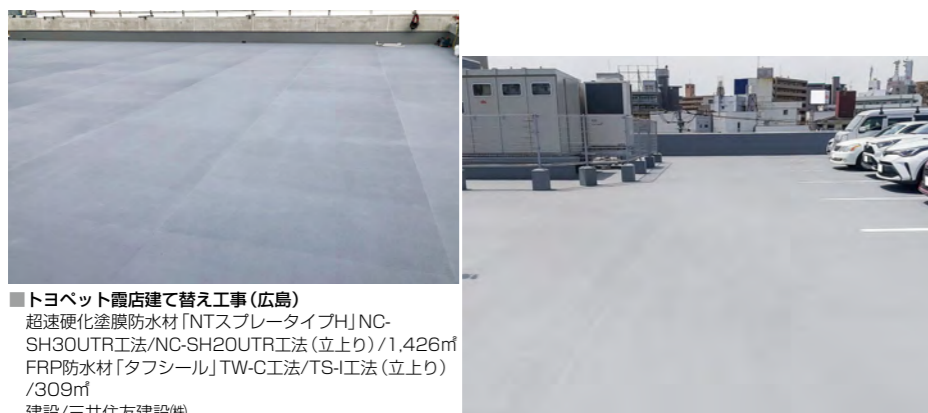
■レフティヒルズ奈多屋上防水改修工事(福岡)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PM-HG20S工法/670㎡
施工/㈱コウケン工業



■ディーフェスタ屋上防水改修工事(佐賀)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PM-HG
20G工法/2,197㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PMT-HG
20G工法(立上り)7㎡
施工/㈱アラカワ彩塗



■佐賀市某工場外壁改修工事(佐賀)
建築外装用塗料「シルビアNADシリコン+シルビア
UVカットシリコンクリヤー」/1,000㎡
施工/岡総合塗装



■トヨペット露店建て替え工事(広島)
超硬化塗膜防水材「NTスプレータイプH」NC-
SH3OUTR工法/NC-SH2OUTR工法(立上り)/1,426㎡
FRP防水材「タフシール」TW-C工法/TS-I工法(立上り)
/309㎡
建設/三井住友建設㈱
施工/田村化工㈱



■某戸建外壁(島根)
建築外装用塗料「シルビアセラティー-N」/100㎡
施工/寺戸工業㈱



■鳥栖市民球場スタンド・内装改修工事(建築工事)(佐賀)
FRP防水材「タフシール」TS-I工法/870㎡
建設/今泉建設㈱
施工/林保冷工業㈱



■湯田運輸新築床工事(山口)
塗り床材「ユータックE-30N」/3,470㎡
施工/光塗装㈱



■周南市某戸建外壁改修工事(山口)
建築外装用塗料「シルビアセラティー-N」
半艶仕上げ/200㎡
施工/㈱日光



■筑後市某病院床改修工事(福岡)
カラー舗装材「ユータックテクノ
ONE」/1,000㎡
施工/有(アイ・スタジオ



■長崎市某マンション屋上防水改修工事(長崎)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」PKD工法(機械的
固定・断熱・遮熱工法)/400㎡
施工/㈱中野防水工業



■某住宅(長崎)
建築外装用塗料「エポラオールプライマー+
リリーフNADシリコン」
施工/ミリッペ

街を彩るニットの製品



■大分県玖珠郡和心-WASHIN-山路厨房床改修工事(大分)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ防滑工法/50㎡
建設・施工/梶原塗装街



■大分市某倉庫屋根改修工事(大分)
エポキシ樹脂下塗り塗料「エポラオールプライマー」
建築屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」(ライトブルー)/1,800㎡
建設・施工/梶有永塗装



■某倉庫塗り床工事(熊本)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し
展べ工法(U-76)/1,200㎡
施工/株式会社河川コーポレーション



■某熊本営業所塗り床工事(熊本)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工
法(U-72)/1,000㎡
施工/株式会社河川コーポレーション



■某工場防食工事(熊本)
防食被覆材「タフバリア#200」C-5工法
/970㎡
施工/株式会社河川コーポレーション



■人吉給食センター塗り床工事(熊本)
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータ
ックコンプライド」CPS-3F工法/280㎡
施工/株式会社河川コーポレーション



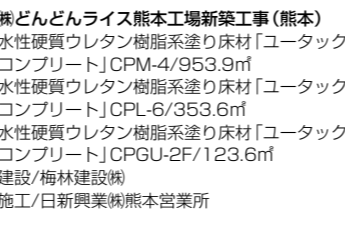
■株式会社河川コーポレーション



■株式会社河川コーポレーション



■株式会社河川コーポレーション



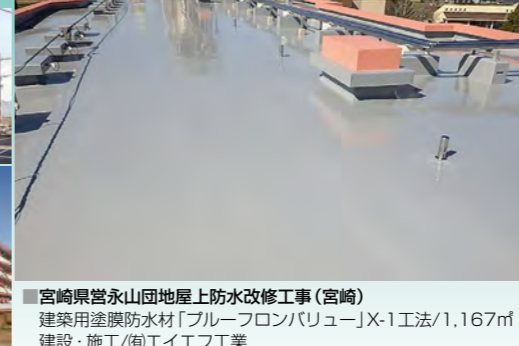
■株式会社河川コーポレーション



■ハイボネール水前寺二丁目大規模修繕工事(熊本)
建築外装用塗料「シルビアサーフ+シルビアWS#300」/2,127㎡
建築外装用塗料「エポラオールプライマー+シルビアNADシリコン」
/73.3㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」X-2工法/97㎡
設計/有隣建築設計事務所
建設・施工/株式会社ミカド



■農業研究センター管理棟他屋根・防水その他改修工事(熊本)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」(ウレタン圧送システム)X-1工法
/1,508㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」(ウレタン圧送システム)X-2工法
/225.6㎡
建設/株式会社方建設
施工/菅産業(株)



■宮崎県宮永山団地屋上防水改修工事(宮崎)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュウ」X-1工法/1,167㎡
建設・施工/有エイエフ工業



■宮崎市立加納小学校屋上防水改修工事(宮崎)
建築外装用塗料「ブルーフロンバリュウ」X-1工法/1,145㎡
建設・施工/有エイエフ工業



■某食品工場床改修
工事(宮崎)
水性硬質ウレタン
樹脂系塗り床材
「ユータックコンプ
リット」CPL-6N
工法/30㎡
建設・施工/株式会社
河川コーポレーション



■第一ホテル新館10階屋上防水改修工事(宮崎)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュウ」X-1工法/305㎡
建設・施工/有エイエフ工業



■鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社川内食品
工場加工室塗り床改修工事(鹿児島)
水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「ユータ
ックコンプライド」防滑工法/297㎡
施工/株式会社河川コーポレーション



■令和2年度市営住宅外壁落下防止等改修工事(石原住宅
1.2号棟)(鹿児島)
超硬化塗膜防水材「NTスプレータイプS」NK-SS30S
工法(機械的固定工法)/214.6㎡
建設/有愛建工業
施工/有村防水



■町田邸外壁改修工事(沖縄)
建築外装用塗料「シルビアセラティーン」
/806.4㎡
建設・施工/株式会社河川コーポレーション



■名渡山邸屋上改修工事(沖縄)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュウ」
X-2工法/161.2㎡
建設・施工/株式会社河川コーポレーション

改修工事予定の方をご紹介します。

ご紹介いただきました工事予定の方には、最寄りの安心できる「ニットク・アメニティシステム連合会」の施工業者様をご紹介します。お気軽に最寄りの営業所へお声掛けください。対象は、戸建て住宅、工場などの「内外装工事」「屋根塗装工事」「防水工事」「塗り床工事」などです。

●感謝の気持ちをお贈りします。

ご紹介いただきました工事が成約した場合、謝礼金として成約金額に応じて紹介料を施工業者様からお贈りします。



表紙イラスト/ 駒田寿郎

日本特殊塗料株式会社

■ 本 社	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6131	●FAX(03)3913-6183
■ 開発本部・ 開発センター	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0661~6	●FAX(03)3914-1085
■ 塗料事業本部			
東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	●FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	●FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8111	●FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	●FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	●FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	●FAX(0942)89-5762
DIY販売部	〒123-0865 東京都足立区新田2-11-4	☎(03)3919-6001	●FAX(03)3919-6681
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)23-3739
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8113	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
九州工場	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5661	●FAX(0942)89-5411
■ 自動車製品事業本部			
営業統括部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0663	●FAX(03)3914-1085
東日本第1営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2132	●FAX(0463)23-3739
東日本第2営業所	〒374-0024 群馬県館林市本町2-5-47 TM21 プラザ2階204号	☎(0276)75-1571	●FAX(0276)75-1578
中日本営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8112	●FAX(0566)82-4600
西日本第1営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
西日本第2営業所	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)23-3739
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8113	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
東九州工場	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>